

二月	月	
中	教材	
	目的	
二時限 続き	時間	
理科室	場所	
<p>○炭火は炭がそのまま火になる。 ○ラフソクの火はしんの上でふわふわした火である。 3、ラフソクの火の下でラフがとけて短くなる。とけたラフがシンに上り、シンのまはりに広がって燃えてゐることをわからせる。 4、吹いた時のちがひから、ラフソクの火はラフがとけて空中でもえてゐることをわからせる。</p> <p>二、ラフソクの火がもえるのにも空気がいる。 1、「見一〇五頁」の實驗をさせる。 2、筒を蓋につけると火が弱る理由を考へさせる。 3、筒を少しあげると火が勢よくなる理由を考へさせる。 4、筒の上下をふさぐと火が消える。 5、右のことで空気が入れ代らないと燃えないことに気づかせる。 三、火が燃えると周囲の空気が運つたものになる。 1、「見一〇六頁」の實驗をさせる。 2、前と違つたものになつて火がよくもえなくなるから、續けてもすには空気を次々に送らなくてはならない事をわからせる。 3、火消しつばに入ると消える理由を考へる。 4、火に灰をかけておくと火が長くもつ理由を考へる。 四、火に關する疑問を紹介させ相互に解決させる。</p>	指導要項	
<p>○ガラス板 ○針金</p>	準備	
	連絡	
	<p>(ワセノ瓦) (ネタナ) (シ越冬ノ物生) (度温ノ中地ト氣大)</p>	<p>繼續觀察と作業</p>

二月	月	
下	教材	
春の 天氣	目的	
早春の 氣候に 關心を 持たせ ながら 氣温や 地中の 温度	時間	
一時限	場所	
校庭か ら入替 様へ	指導要項	
<p>(一) 早春の印象 一、春の訪れと思はれることを言はせる。 1、暖かくなつた。 2、日が高くなつた。 3、太陽が高くなつた。 4、霜がたなくなつた。 5、池の水がはらなくなつた。 6、梅が咲きはじめた。 7、其の他思ひにくく言はせる。 二、草や木の様子を見て春の訪れを探る。</p> <p>11、其の他の疑問について考へさせたり、實驗したりして無理なく導いてやる。</p> <p>10、泡が水の中を上昇する理由を考へさせる。 ○百度の所でとまつてゐる。 ○にえち始めは温度が上昇するが、その後は火力を強めても湯の温度は上昇しないことを認めさせる。</p> <p>9、湯気が目に見えないこと、を話す。 10、湯気が目に見えないこと、を話す。 11、湯気が目に見えないこと、を話す。 12、湯気が目に見えないこと、を話す。 13、湯気が目に見えないこと、を話す。 14、湯気が目に見えないこと、を話す。 15、湯気が目に見えないこと、を話す。 16、湯気が目に見えないこと、を話す。 17、湯気が目に見えないこと、を話す。 18、湯気が目に見えないこと、を話す。 19、湯気が目に見えないこと、を話す。 20、湯気が目に見えないこと、を話す。 21、湯気が目に見えないこと、を話す。 22、湯気が目に見えないこと、を話す。 23、湯気が目に見えないこと、を話す。 24、湯気が目に見えないこと、を話す。 25、湯気が目に見えないこと、を話す。 26、湯気が目に見えないこと、を話す。 27、湯気が目に見えないこと、を話す。 28、湯気が目に見えないこと、を話す。 29、湯気が目に見えないこと、を話す。 30、湯気が目に見えないこと、を話す。 31、湯気が目に見えないこと、を話す。 32、湯気が目に見えないこと、を話す。 33、湯気が目に見えないこと、を話す。 34、湯気が目に見えないこと、を話す。 35、湯気が目に見えないこと、を話す。 36、湯気が目に見えないこと、を話す。 37、湯気が目に見えないこと、を話す。 38、湯気が目に見えないこと、を話す。 39、湯気が目に見えないこと、を話す。 40、湯気が目に見えないこと、を話す。 41、湯気が目に見えないこと、を話す。 42、湯気が目に見えないこと、を話す。 43、湯気が目に見えないこと、を話す。 44、湯気が目に見えないこと、を話す。 45、湯気が目に見えないこと、を話す。 46、湯気が目に見えないこと、を話す。 47、湯気が目に見えないこと、を話す。 48、湯気が目に見えないこと、を話す。 49、湯気が目に見えないこと、を話す。 50、湯気が目に見えないこと、を話す。 51、湯気が目に見えないこと、を話す。 52、湯気が目に見えないこと、を話す。 53、湯気が目に見えないこと、を話す。 54、湯気が目に見えないこと、を話す。 55、湯気が目に見えないこと、を話す。 56、湯気が目に見えないこと、を話す。 57、湯気が目に見えないこと、を話す。 58、湯気が目に見えないこと、を話す。 59、湯気が目に見えないこと、を話す。 60、湯気が目に見えないこと、を話す。 61、湯気が目に見えないこと、を話す。 62、湯気が目に見えないこと、を話す。 63、湯気が目に見えないこと、を話す。 64、湯気が目に見えないこと、を話す。 65、湯気が目に見えないこと、を話す。 66、湯気が目に見えないこと、を話す。 67、湯気が目に見えないこと、を話す。 68、湯気が目に見えないこと、を話す。 69、湯気が目に見えないこと、を話す。 70、湯気が目に見えないこと、を話す。 71、湯気が目に見えないこと、を話す。 72、湯気が目に見えないこと、を話す。 73、湯気が目に見えないこと、を話す。 74、湯気が目に見えないこと、を話す。 75、湯気が目に見えないこと、を話す。 76、湯気が目に見えないこと、を話す。 77、湯気が目に見えないこと、を話す。 78、湯気が目に見えないこと、を話す。 79、湯気が目に見えないこと、を話す。 80、湯気が目に見えないこと、を話す。 81、湯気が目に見えないこと、を話す。 82、湯気が目に見えないこと、を話す。 83、湯気が目に見えないこと、を話す。 84、湯気が目に見えないこと、を話す。 85、湯気が目に見えないこと、を話す。 86、湯気が目に見えないこと、を話す。 87、湯気が目に見えないこと、を話す。 88、湯気が目に見えないこと、を話す。 89、湯気が目に見えないこと、を話す。 90、湯気が目に見えないこと、を話す。 91、湯気が目に見えないこと、を話す。 92、湯気が目に見えないこと、を話す。 93、湯気が目に見えないこと、を話す。 94、湯気が目に見えないこと、を話す。 95、湯気が目に見えないこと、を話す。 96、湯気が目に見えないこと、を話す。 97、湯気が目に見えないこと、を話す。 98、湯気が目に見えないこと、を話す。 99、湯気が目に見えないこと、を話す。 100、湯気が目に見えないこと、を話す。</p>	準備	
<p>○試験管 目盛り コップ 棒状水 銀寒暖 計 炭 火だね 十能 火消し つば ○うちは</p>	連絡	
<p>「季節 だよ り」 初理二 「夏の 天氣」 「秋の 天氣」</p>	<p>(ワセノ瓦) (ネタナ) (シ越冬ノ物生) (度温ノ中地ト氣大)</p>	<p>繼續觀察と作業</p>

月	
教材	
目的	日の出の入りや太陽の高さをしどをしどをせ、氣候の變化を考察せ、四季のつとつと春の天氣について理解を得させ
時間	二時限 続き
場所	學校園
指導要項	三、鳥・魚・蟲の様子から春の訪れを知らせる。 四、山・川の様子で春の様子を知らせる。 五、空の様子を観察させて春の訪れを知らせる。 六、この頃の天氣について気づいたことを言はせる。 (二) 氣温を計る 一、一日の氣温が時刻によつて違ふことを認めさせ、時刻を定めて計り、圖をかくこと。 二、寒暖計の場所をきめる。 三、一回でなく何回も計るやうにする。 四、家庭でも進んで計るやうにする。 五、氣温の日々の變化をしらべること。 六、毎日定まった時刻に氣温を計つて圖示させる。 七、なるべく長く計らせること。 八、一日の時刻による氣温の變化と日々の氣温の變化によりどんなことがわかるか考察させる。 (三) 地中の溫度を計る 一、島で土の中の溫度をはからせる。 二、計り方(見一頁)の實驗一の如くする。 三、氣温を計る時刻と一致させて一日に何回も計らせる。 四、寒暖計をさし込む深さをいろいろにする。 五、目盛りを読むには手早くすること。 六、毎日寒暖計は始末させるやうにすること。 七、計つた地中の溫度とそこの氣温とを圖表に表はさせる。 八、次のことを考へさせる。 一、一日の時刻による變化はどうか。 二、日々の溫度の變化はどうか。 三、氣温の變化と比較して違ふところ。
準備	○寒暖計 ○竹 ○ひも ○方眼紙 ○定木
連絡	「多」 「天氣」 「算一」 氣温
継続観察と作業	(ワセノ瓦) (ネタナ) (ルメ深) (度温ノ中地ト氣大) (入出ノ日ト高ノ陽太)○

月	三 上月
教材	
目的	
時間	一時限
場所	運動場
指導要項	四、その深の起る理由。 五、土の深をわからせる。 一、太陽に照らされて溫度が上ること。 二、深い所は暖まりにくく冷えにくい。 三、土中は空氣より變化が少い。 四、深所程變化が少い。 五、少しづつは土中の溫度も上ること。 (注意) 継続観察は二月初から行ひ、此のあたりで中間に整理し、今後も続けるやうにすること。 (四) 太陽の高さ 一、太陽が高くなると暖くなることを認めさせる。 二、冬の間は目ざしが、教室の中まではいつたが、だん／＼窓際の方へよつて来たことに気づかせる。 三、正午頃は暖いが、太陽が高くなつて来た。 四、日ざしが強いのも斜めの方から次第に高い所に移つたからであること。 五、窓からさしこむ日ざしと物の影。 一、太陽が高いと物の影は短くなる。 二、「見一頁」の實驗一をさせる。 三、太陽の高さを測る仕方を考へる。 四、「太陽の高さ」の意味を話す。 五、太陽から来る光の方向が地面となす角によることを考へつかせる。 六、角を計らせる。 七、角の大小は結局の影長さの如何と關係あることに気づかせる。 八、毎日、一定の時刻に棒の影の長さを計つて記録し、それを圖示させる。 九、(五) 日の出、日の入り 一、日の出から日の入りの太陽の運行について。
準備	○棒 ○物指 ○おもり をつけ た糸 ○三角定 木 ○分度器
連絡	「算一」 「算三」 「木」 高サ
継続観察と作業	(ワセノ瓦) (ネタナ) (ルメ深) (度温ノ中地ト氣大) (入出ノ日ト高ノ陽太)○

月	教材	目的	時間	場所	指導要項	準備	連絡	継続観察と作業		
					<p>1. 出る方角とはいる方角をしらべる。(家で)認めさせる。</p> <p>2. この頃は真東から出て、真西に入ることを認めさせる。</p> <p>3. 日の出、日の入の時刻をしらべる。</p> <p>4. 晝・夜の長さを計算させる。</p> <p>(注意)</p> <p>三、四日おきに長く観察させること。</p> <p>5. 午前八時、午前十時、正午、午後二時、午後四時に太陽の見える方角と高さをしらべさせる。</p> <p>(六) 春分</p> <p>一、暦の上で最も大切な春分について次のことを知らせる。</p> <p>1. 日は三月二十一日か三月二十二日であるが、春分は三月二十一日であること。</p> <p>2. 太陽は真東から出て真西にはいる。</p> <p>3. 晝夜の長さが同じ。</p> <p>4. 春季皇霊祭はこの春分の日に行はれる。</p> <p>5. 春分の日をすぎると。</p> <p>○ 太陽は真東、真西より北にだんだんかたよつて出入りする。</p> <p>○ 晝の長さは夜の長よりだんだん長くなる。</p> <p>○ 南中時の太陽はだんだん高くなる。</p> <p>6. 春分を中にして前、後三日宛の七日間を春の彼岸と言ふ。</p> <p>(注意)</p> <p>1. 夏になるとどうなるか楽しみにするやうに導くこと。</p> <p>2. 四年生程度以上に深入して混乱を招かぬやう注意すること。</p> <p>3. 池の水温を継続的に計らせるも可。</p> <p>4. 継続的な測定、處理は課外の時間に行はせること。</p>				<p>長サ、夜ノ長サ、算一、日の出入リ</p>	<p>○(ルヅユニ年四新ヲカ年學新) (ルセヲ表發ヲ想感・セヲ省反ヲワセノ間年)</p> <p>○(ルス話世キ續引モテツナニ年五) (ネ タ ナ)</p> <p>○(ルセヲケ續ヲ定測ニ外課セヲ持ヲ味興) (度温ノ中地ト氣大)</p> <p>○(ルセヲ測觀・定測々時ヲカ待期ノヘ) (入出ノ日トサ高ノ陽大)</p>

製複許不



昭和十八年一月十五日印刷
昭和十八年一月二十八日發行

國防強化と理科教育下(理科)

●定價 貳圓參拾錢
送料 拾五錢

著者 神奈川縣師範學校附屬國民學校

發行者 河内雪二郎

印刷者 岩崎林造

印刷所 明治印刷株式會社
東京市神田區錦倉町十九番地

發行所

鎌倉市雪ノ下

神奈川縣師範學校附屬國民學校

電話 鎌倉六四七番

神奈川県女子師範学校附属国民学校著

A 5 判

國民科授業細目

- 國民科修身・國語・綴方・郷土の觀察につき教材のねらひ、指導の要項、指導の計畫を具體的に解示
- 各學年用共教材配當一覽表を附屬す
- 國民科運営の實踐記録

初四用	初三用	初二用	初 一用
送料 三十五錢	送料 二十五錢	送料 二十五錢	送料 二十五錢
定價 三十五錢	定價 二十五錢	定價 二十五錢	定價 二十五錢

高度國防教育體制の確立と國民科の運営!!

閣 光 新 所 行 發
 一十目丁三町保神區田神市京東
 番七一〇一三一京東替振

國民學校

國防教育體制

法政大學 教授
神奈川県第二高等女學校囑託
同女子師範附屬國民學校調導

城戸幡太郎序
林 進 治 著

國防教育の問題を國民學校教育の全構想に於て如何に實踐すべきか 具體案提唱!!

四六判・上製
 定價 貳圓拾錢
 送料 拾五錢

大東亞建設と國民教育の實際

閣 光 新 所 行 發
 一十目丁三町保神區田神市京東
 番七一〇一三一京東替振

折居千一著

樺島勝一裝幀

しつけの科學

培
大日本青少年團長
陸軍大將 鈴木孝雄題字

東京女高師教授 石川謙序

醫學博士 唐澤杉三序

四六判上製

定價 貳圓貳拾錢

送料 十五錢

本書は正しい日本の「しつけ」の觀念を體得せしめる方途を示すと共に「しつけ」を科學の上に立脚して皇國の使命を體認し外に調和を求むる「道」に立つての實踐を平易にかつ具體的に説ける學校、家庭必讀の好著

新しき啓培源泉を指示日本的「しつけ」の科學化

發行所 新光閣
東京市神田區保町三丁目一十番
振替東京一三〇一七番

內務省警保局長題字 情報局・內務省 野尻一郎著

皇室の儀制と敬語

情報局第四部長 情報局第四部第一課長 推薦

四六判上製
定價 二圓五十錢
送料 十五錢

皇室を尊崇し奉るといふ事は我が國民の大きな誇であるが、その諸制度、儀式、用語等は古來特殊なものが極めて多く往々にして無意識の裡に誤記誤用するものも尠くない。本書は多年檢閲事務に携つてゐた著者が各種法令を経とし事務上より見たる實例と諸種の文獻を緯として極めて實際的に記述せるものである。兒童に接するに當り、皇室に及び奉らざる日無き國民學校教職員各位にとつて日常缺くべからざる緊要なる書物である

發行所 新光閣
東京市神田區保町三丁目一十番
振替東京一三〇一七番

東京青山師範附屬主事 阪本一郎著 B6判 定價 二圓三十錢 送料 十五錢

少國民鍊成の心理

鍊成觀の新構想

幽玄な理論はしばらく措き核心に觸れつつ直ちに實踐への構想を導く著者独自の鍊成觀

- 内 容
- 一、昭和教育維新
 - 一、皇民鍊成の理念
 - 一、兒童觀の轉廻
 - 一、修練の心理
 - 一、經營の新構想
 - 一、國民的世界觀鍊成の實際

發行所 新光閣
東京市神田區保町三丁目一十番
振替東京一三〇一七番

訓導必備の寶典

教養研究會刊行圖書

入澤博士御推薦 樺 眞太先生著 (第六十三版)

國民學校訓導必備

國民學校の忠實なる實踐の好伴侶

内 容

宜戦の大詔、勅語詔書、皇室御歴代表
實務篇——行事事務一覽、教材配當表、個性調査、成績考査、學籍簿
記入要領、祝祭日諸行事訓話要項、禮法要項
參考篇——教育の歌、大東亞戰爭略史、教育圖書一覽、文部省推薦兒童圖書、球技手引體力檢定、改正鐵道郵便規則
法規篇——重要なる國民學校關係法令最新發令のもの迄悉く收録す。
抄 記入欄——末尾。

ポケット型一九〇頁
定價 七十五錢
送料 十五錢

發行所 新光閣
東京市神田區保町三丁目一十番
振替東京一三〇一七番

B5判 本文鮮麗ガリ印刷

頒價 二圓八十錢

送料十五錢

國民學校經營資料

編本

定限數部

内外地、都市村落、大小等あらゆる條件を具にする全國著名國民學校に於ける學校經營實例を左記項目に分類、網大洩さず公開

一、經營方針一、經營方針、學校編成職員組織方針、教室配置條件、職員室座席決定方針等

一、經營方針二、校務分掌系統、時間割編成方針、校訓兒童訓、教員信條、成績考查方針、標語ノ割合、兒童役員、授賞種目等

一、日時程一、兒童生活時程、職員勤務、宿直日直、每週行事

一、日時程二、每月行事、每年行事

一、諸規定ノ綱領一、奉護、服務、週番、職員會、規約、後援會等

一、諸形式順序慣例一般一、出勤、朝禮、授業開始終了、晝食、終禮、清掃作業、職員會、週番引繼等

一、環境・整備一、奉安殿、特別教室、郷土室、揭示場、立像等

内容

發行所 新光閣

東京市神田區保町三丁目一十一番
振替東京一三一〇一七番

B5判 本文鮮麗ガリ印刷

頒價 二圓九十錢

送料十五錢

國民學校經營資料

編續

定限數部

本編を補足して完璧の經營資料たるを期す

一、保健施設一、衛生室、手洗所、皮膚鍛練、榮養劑驅蟲服用、治療、検査、測定、給食、養護學級等

一、夏季冬季鍛練施設一、ラジオ體操會、早起會海濱聚落、寒稽古等

一、勤勞教育施設一、清掃、農耕、増産協力、飼育等

一、學校家庭聯絡施設一、保護者會、招待、調査、通信簿、訪問、參觀等

一、戰時教育施設一、大詔奉戴、時局認識、戰時生活訓練、防護避難等

一、兒童大會施設一、音樂會、學藝會、展覽會、運動會、遠足等

一、諸團體聯絡施設一、町村、部落、常會、青年團、在郷軍人會、職員指導所等

一、最近ノ諸施設及特ニ經營セル施設一、映畫教育、學校放送、音感教育、郷土環境利用、禮法訓練、職員共濟、航空少年隊、模型航空機等

一、少年團一、役員、内部組織、經費豫算、分團組織、事業等

内容

發行所 新光閣

東京市神田區保町三丁目一十一番
振替東京一三一〇一七番

學籍簿記入指針

文部省普通學務局中谷千藏先生御指導 教育研究會編 (第十六版)

國民學校學籍簿記入範例集

文部省の御指示を仰ぎ大成せる
學籍簿記入法の最高峰

四六倍
一四六
送付十二
錢頁判

内

- 一、全國優良國民學校に於ける學籍簿記入實例(高二迄記入済)多數
- 一、各欄記入文例多數
- 一、詳細なる具體的注意事項
- 一、參考法規、參照資料

容

- 一、國民學校の學籍簿について

文部省前初等教育課長 清水 虎雄先生講

學籍簿は手腕のバロメーターなり

發行所 新光閣

東京市神田區神保町三丁目十一番
振替東京一三一〇一七番

1854
253

